

- 1 計画の位置付け 山形県文化基本条例第9条に基づく文化施策を総合的かつ計画的に推進するための基本計画として、文化の推進に関する基本的施策の方向性を示したものの。
- 2 計画の期間 平成31(2019)年度から5年間
- 3 計画の構成 条例に掲げる文化の推進に関する基本的施策ごとに取り組むべき施策の方向性を示す。
- 4 計画の進行管理 毎年度評価・検証を行い、次年度以降の施策に反映。

1 文化の振興等

現状と課題

- 県民芸術祭や市町村芸術祭の開催など県民の自発的な文化活動が活発。各地の文化施設では多種多様な公演や展示を実施。
- 伝統文化が県内各地で守り伝えられ、精神文化や舟運文化、日本遺産、地域色豊かな郷土料理など本県の誇る特色ある文化が国内外から注目を集める。
- 建築、工芸などのデザインにおいて文化的価値の高いものが存在。
- 山形市のユネスコ創造都市ネットワーク加盟、「新庄・最上漫画ミュージアム」の開設などメディア芸術も盛ん。
- 少子高齢化により担い手が減少し、文化団体の会員も減少。
- 地域コミュニティの弱体化などにより、県民が文化に親しむ機会が減少。
- ◇県民が文化を鑑賞・活動する機会の充実、受け継がれた文化を伝える取組への支援が必要。県内には数多くの有形・無形の文化財があり、次世代への確実な継承と活用が重要。

施策の方向性

○芸術の振興

- ・県民芸術祭や大学等と連携した芸術祭、映画祭の開催等による県民の自発的な文化芸術活動の促進
- ・山形県総合文化芸術館、置賜文化ホール、山形県芸文美術館、市町村文化施設等での多種多様な公演・展示の開催

○生活文化等の振興

- ・県民芸術祭や市町村芸術祭の開催等による県民の自発的な文化芸術活動の促進(再掲)
- ・文化団体等が開催する全国規模の大会や公演への支援

○伝統芸能等の継承及び発展

- ・映像記録等による保存活動の促進
- ・伝統芸能を県民に発表する機会の提供
- ・文化庁「伝統文化親子教室」や「子ども伝承活動ふるさと塾」等による担い手育成の機会の提供

○特色ある文化の継承及び発展

- ・本県の特色ある文化の県民への情報発信や普及啓発及び地域住民の取組への支援
- ・地域の郷土料理を取り入れた学校給食や食文化を学ぶ料理教室の開催などによる県民が地域の食文化を知る機会の提供
- ・伝統工芸品の企画展やプロモーションの実施による国内外への情報発信

○文化財等の保存及び活用

- ・未指定文化財の調査及び指定の推進、国・県指定文化財の計画的な保存修理への支援
- ・埋蔵文化財保護のための調査の実施、埋蔵文化財に関する普及啓発の推進
- ・国、県指定文化財等の適正な維持管理、県民への公開
- ・地域の文化財を保存・活用する取組みを「未来に伝える山形の宝」として登録し支援
- ・日本遺産等を活用した観光振興や地域活性化に向けた取組の推進

○デザインの保存及び活用

- ・文化的価値が高いデザインの映像記録等の保存活動の促進
- ・デザイン性に優れた服飾、家具、工芸品等の情報発信・利用拡大

2 文化に親しむ環境づくり

現状と課題

- 文化・芸術活動の拠点であり地域活性化の拠点となる山形県総合文化芸術館の開館・山形県立図書館のリニューアルオープン(平成31年度)。市町村立文化施設等の相次ぐ開館。
- 企業による文化活動支援の増加。
- 鑑賞したい公演や作品が少ない、文化に関する情報が届かないと約4割の県民が感じており、文化に親しむ環境づくりが十分とはいえない状況。
- ◇県民が年齢、障がいの有無等にかかわらず、文化を鑑賞し、参加し、創造することができる環境の整備が必要。
- ◇「やまがた社会貢献基金」の活用など、県内企業の文化活動に対する支援を促進することが必要。

施策の方向性

○県民の文化に親しむ機会の充実

- ・山形県総合文化芸術館における質の高い舞台公演や著名アーティストの公演等の開催
- ・市町村文化施設における地方では鑑賞する機会の少ない公演等の開催促進
- ・文化団体等との連携による優れた公演やコンサート、展覧会の開催
- ・文化団体が行う先進的・創造的な創作活動等への支援
- ・美術館や博物館等でのコンサート、病院、銀行等での展覧会の開催促進
- ・幅広い年齢を対象とした体験型講座、福祉施設等への出前講座等の開催
- ・県内主要美術館・博物館等の所蔵品の県内文化施設等での巡回展の開催

○文化施設の充実及び活用促進

- ・山形県総合文化芸術館における質の高い施設・設備・サービスの提供
- ・県立博物館における魅力ある企画展や講座の開催、相談体制の充実
- ・県立図書館における郷土資料等の充実や情報発信
- ・県内文化施設における共同企画、連携事業の実施促進
- ・公民館等身近な場所を活用した文化活動を発表する機会の充実
- ・やまがた障がい者芸術活動推進センターの機能強化
- ・県立文化施設での多言語表記や無料Wi-Fi導入、バリアフリー化の推進

○事業者による文化活動等の促進

- ・企業の冠コンサートの開催など文化活動への参画促進
- ・「やまがた社会貢献基金」を活用した文化活動への支援

○文化情報の収集及び提供

- ・生涯学習情報提供システム「やまがたマナビイ net」の情報発信の充実、観光など他分野のサイトとの連携強化
- ・山形県総合文化芸術館におけるタイムリーな文化情報の発信
- ・「未来に伝える山形の宝」ポータルサイトによる情報発信の充実
- ・県立図書館における郷土の貴重な資料のデジタル化とホームページでの公開等や企画展示・関連イベントでの情報発信